

四日市旧港まち歩きマップ

まち歩きモデルコース
ガイドツアーコース、バリアフリーコース、稲葉翁を巡るコースは裏面で紹介しています。

- 5 近鉄四日市駅 片道サイクリングコース [約3.6km]
- 6 近鉄四日市駅 ぐるっと1周サイクリングコース [約5.3km]

歴史的資源

★思案橋跡 歴1 C-2

徳川家康が本能寺の変を聞き、三河へ帰国するとき、海路にするか陸路にするかについて思案に暮れた、という故事から、この橋の名が付けられたと言われている。昔は思案橋の近くに四日市湊があった。

■不動寺 歴7 C-2

寛永16年(1639)に徳川家康が、美濃国高須にある観音寺から「不動明王の像」が伊勢湾へ漂流し、四日市南納屋の漁師井垣某の漁網にかりました。この地に縁のある御仏とすると龍灯松の下に御堂を建立し、祀ったのが不動寺の始まりとされています。それ以前から、この辺りは四日市湊の中心であり、不動寺境内の龍灯松は港の目印となっていました。

★潮吹防波堤 歴2 E-3

稲葉三右衛門が築いた旧港が暴風雨によって大破したため、明治26年(1893)部長長七によって築かれました。長七は、波の力を弱めるため堤防の腹面に穴を開ける工夫を凝らし、強度な人工石を発明して、この堤防を造りました。平成8年(1996)に国の重要文化財に指定されています。

■千歳橋 歴8 D-3

昔の千歳橋 尾上町と千壽町(二番地)を結ぶ千歳橋の完成は、大正15年(1926)です。

★稲葉翁銅像 歴3 B-2

6代目稲葉三右衛門は安政大地震で破壊された湊の修築を志し、12年の歳月をかけて近代港灣の基礎を築きました。昭和2年(1927)市政30周年記念事業として、稲葉翁の銅像が作られました。戦時中の金属供出により失われました。現在の像は昭和30年に作られた2代目です。

■相生橋 歴9 D-2

初代相生橋は明治23年(1890)に当時の袋町、高砂町南町の長屋敷で築かれた木橋でした。現在の相生橋は3代目で、平成7年(1995)秋に完成しました。美しいフォルムの相生橋は、古い歴史を守りつつ、地域の人々に親しまれています。夜になるとライトアップされ、昼間とはまた違った雰囲気を醸し出しています。

★稲葉翁記念公園 歴4 D-3

四日市湊を修築して近代港灣への基礎を築いた稲葉三右衛門の偉業を記念して、旧港の岸壁近くで作られた公園です。潮吹防波堤と相生橋の仕組みを再現した模型が展示されています。

■開栄橋 歴11 D-2

相生橋の北に位置し、納屋運河に架かる開栄橋は、旧蔵町と稲葉町を繋ぎ、思案橋に続く歴史ある橋です。

■波止改築記念碑 歴5 D-3

波止改築記念碑は、防波堤改築を記念して明治27(1894)年に作られた碑です。稲葉三右衛門君影功碑は、明治30年(1897)に建てられた顕彰碑です。これらは潮吹防波堤とともに国の重要文化財に指定されています。

■蔵町通り 歴6 D-2

蔵町は納屋地区でも最も古く、最初に発展した町です。現在の蔵町は、なやプラザ(旧納屋小学校)の周りを囲むようにありますが、江戸時代初期には思案橋から湊に続く通りの両側に蔵が並び、町を形成していました。

■納屋運河 歴12 D-2

昔の納屋運河 対岸の白雲の洋館は四日市市街で、若葉には開栄橋、その向こうには倉庫群が見えます。



自然的資源

★プロムナード 自1 D-3

高潮対策の防壁前面平場を利用してカラフルな舗装や安全柵、照明灯の設置を行い、旧港から千歳橋までの散歩道として平成3年(1991)に整備されました。旧港を眺めながら散歩することができます。

■北納屋公園 自2 D-2

納屋運河を埋立てて整備された公園で、滑り台やブランコなどがあり、子供向けの公園です。公園の南東部には船を停泊させる金具が残っており、運河の面影を感じることができます。

■納屋防災緑地 自3 D-3

幅約50m、全長約300mの南北に細長い防災緑地です。どんぐりの木や芝生などが生えており、自然豊かなオープンスペースです。遊具などが整備されており、子どもに人気があります。

■みなと公園 自4 D-5

四季を通じて市民に親しみを与え、物流と市民を極力分離することを目的として整備された公園です。オーケストラやダンス、トイが設置されており、緑あふれる空間となっています。

産業的資源

★本町通り商店街 歴1 C-2

昔の本町通り 大正11年(1922)、伊勢鉄道乗り入れで西駅舎が完成し、商店街はますます栄えました。

■倉庫群 歴4 C-4

千歳運河沿いには物流を象徴する倉庫群が並んでいます。倉庫群には倉庫群周辺で荷役の作業風景が見られます。

■三和商店街 歴5 D-5

細い路地沿いに居酒屋が並び並ぶシロト商店街です。

■旧四日市港管理組合庁舎 歴6 D-5

平成11年(1999)の四日市港ポートビルがオープンするまで四日市港管理組合庁舎として機能しました。

■四日市地区入港船 歴7 D-5

四日市地区には様々な船が入港します。自動車運搬船や商船、化学製品の運搬船など多岐にわたります。イベント時には珍しい船が停泊することもあります。

★末広橋梁 歴2 C-4

千歳運河にかかる現役最古の跳動式可動鉄橋橋梁です。昭和6年(1931)に竣工しました。全長58メートルのうち中央部16メートルの橋桁が80度ほど跳ね上がります。平成10年(1998)に国の重要文化財に指定されました。

★臨港橋 歴3 C-5

末広町・千歳町の千歳運河に架けられた可動橋(跳ね上げ橋)です。船舶が通るときは遮断機で車の通行を止め、中央部の橋桁を約70度押し上げて開きます。初代は昭和7年(1932)に竣工しました。現在の橋は平成3年(1991)11月に完成した3代目です。

■倉庫群 歴4

■末広橋梁 歴2

■千歳橋 歴8

■なやプラザ 文7

オープニング(8:30-9:30)
講演会・成果報告会(10:00-11:30)
港巡りウォークラリー(9:00-16:00)
散策ガイドツアー(12:00-14:00)
フードコート(11:00-16:00)
港に関する展示(9:00-16:00)

■JR四日市駅

レンタサイクル(8:00-16:00)

■近鉄四日市駅

レンタサイクル(8:00-16:00)

【ご案内とお願い】

- モデルコースの所要時間は目安です。まち歩きマップを参考に、各自のペースで散策下さい。
- 交通ルールを守り、作業車両等に十分注意して下さい。
- 危険ですので、高圧作業をしている場所には立ち入りしないで下さい。
- ゴミ等は持ち帰り下さい。
- 歩行中の喫煙はおやめ下さい。吸い殻入れのある場所以外での喫煙はご遠慮下さい。
- 天候、その他の理由によりガイドツアーコース、バリアフリーコースのコースを変更する場合があります。
- 散策中、駐車時等での負傷や他人に与えた損害については主催者側は一切責任を負いません。
- 緊急時の連絡先: 080-3759-7817

- 主催: 四日市まちあるき実行委員会
四日市商工会議所・港地区連合自治会・四日市港連合会・四日市みなとサポーター・四日市港振興会・四日市観光協会・FMよっかいし・三重大学・四日市市役所・四日市港管理組合
- 協賛: 高砂建設株式会社
日本トランスシティ株式会社
協同海運株式会社
愛三商船株式会社
旭運輸株式会社四日市事務所
伊勢湾倉庫株式会社
伊藤製油株式会社
株式会社大久保商會
九鬼産業株式会社
コスモ海運株式会社
三栄株式会社
中日本建設株式会社
中部海運株式会社
千代田開発株式会社四日市支店
日本通運株式会社四日市支店
株式会社マーメディックサービス
美濃工業株式会社四日市工場
三井倉庫株式会社 中部支店四日市統括事務所
四日市海運株式会社
四日市ハーバータグ協議会
四日市ポートサービス株式会社

文化的資源

★ボードウォークと壁面 文1 D-4

約100メートルほどのボードウォークは遊覧船の乗り場でした。ボードウォークから様々な船を眺めることが出来ます。ボードウォーク沿いの壁面は地元高校生の手により平成8年(1996)4月に完成しました。

■なやプラザ 文7 C-2

廃校となった納屋小学校の建物を利用して市民活動、生涯学習のための拠点施設センターとして整備されました。現在では、ボランティア組織、NPO等の様々な市民に利用されています。

■岩戸山山車 文8 C-2

天守受賞金(アマノウズメ、日本神話に登場する女神)に化けた理が正体を現し、腹鼓を打ちながら岩丸が膨れだすというユニークな山車です。初代は幕末から明治にかけて作られたとされ、大入道と同一人形師の作と言われている。昭和61年(1986年)に再建しました。天守受賞金の頭は八代目玉座庄兵衛作です。

■菅公山車蔵 文3 C-2

菅公山車は、菅原真直の前で文字をかく子どもを表現したものです。実際に人形が文字を書くところが特徴です。子どもが顔に文字を書き、それを道具に見るとほめられる、子どもは喜び誇ります。初代は明治初期に建造されましたが、戦災で焼失しました。昭和27年(1952年)にからくり人形として再建しました。

■大入道山車蔵 文4 D-2

首を伸長した時の高さが約7.6mに及び、わが国最大からくり人形大入道の山車です。演夜時には銅鑼と太鼓のリズムに合わせて首を長く伸ばし、首をもたげて首を伸ばして目を引き、両手を前後に大きく振り回します。ももは織物師の例祭である「四日市祭」に備前の町のだしものとして登場しました。桶の町は当時海岸に船の多い所で、誰が出でたかたびり人を驚かせたので、これを鎮めたいと「大入道」を制作したと言われています。

■金城軒「太白永餅」文9 D-3

創業昭和4年(1868)の老舗の餅屋です。太白永餅は、国内産のもち米・北海道産の小麦を使用して作られたお菓子で、こげがりと香ばしささながらおいしい食感が特徴です。

■花月堂 文5 C-2

創業明治16年(1883)の老舗です。たつぷりとした船に羽二重餅をくるみとあんこ、大きな島中である「栗の里」は、四日市周辺の住民には広く知られた郷土銘菓です。

■岩嶋屋「うすかわ饅頭」文10 C-2

創業は天保8年(1837)、江戸時代より、岩嶋屋のうすかわ饅頭として愛されています。うすかわ米・北海道産の小麦と大豆を練り込んだあんこ、ほんのりと香りの香りが漂ううすかわがよく調和した純日本の和菓子です。

■浜松茂 文6 D-3

浜松茂は明治39年(1906)の老舗です。たつぷりとした船に羽二重餅をくるみとあんこ、大きな島中である「栗の里」は、四日市周辺の住民には広く知られた郷土銘菓です。

■四日市港第一船員会館 文11 D-3

宿泊・食事が可能な施設で、営業日は月～土曜日です。一般の人々も食事ができます。昼食のみで、予約があれば朝食・夕食も可能です。

凡例: 歴史的資源、自然的資源、文化的資源、産業的資源、重要資源(色は資源の色に準じる)、案内所、コンビニ、陣屋跡、山車蔵庫、JR線、近鉄線、東海道、浜往還、南浜往還、運河跡(推測)、公共施設・学校、民間・商業施設、公園・緑地

【参考文献】 四日市港管理組合「四日市港開港百年史」(2000)、四日市市立博物館「ふるさとの絵図」(1997)、四日市市立博物館「写された四日市」(2002)、四日市市立博物館「海と港の博物館」(1999)、稲山隆雄「目で見る四日市の100年」(名古屋郷土出版社、1990)、四日市市立博物館「目で見る四日市の100年一商工春秋別冊」(名古屋郷土出版社、1993)